

運動不足 大丈夫？ 骨折防止へ歩こう

碧南・小林記念病院

コロナ禍で運動不足となつている高齢者に骨折の危険性が高まっているとして、碧南市新川町の小林記念病院は、散歩など軽い運動を積極的に行うよう呼びかけている。

同病院は、骨がもろくなる骨粗しょう症の治療に重点的に取り組む。新型コロナ



ナウイルス感染予防で、毎年実施していた住民向けの骨粗しょう症予防教室、入院患者への再骨折予防講習などは中断しており、骨粗しょう症の進行による影響が今後出てくると予想される。住田憲治医師(五セ)「写真」は「今こそ、検診を積

極的に受けてほしい。過去に骨折経験がある人は特に注意が必要だ」と指摘している。

同病院は二〇一五年から、骨折患者について、地域の内科のかかりつけ医と連携して、生活習慣病と同時に治療する「循環型リエゾンサーピス」に取り組んでいる。患者の状態を面で情報共有することで、継続的な治療にも役立てている。